

予報期間 10月31日から11月6日まで

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- 11月2日は、低気圧が発達しながらカムチャツカ半島付近へ進み、新たに日本海に発生した低気圧が北日本に進む。大陸の高気圧が黄海付近へ移動する。
- 3日は、低気圧が千島近海を東進し、高気圧が日本海へ移動する。
- 4日は、高気圧が日本のはるか東へ移動し、東シナ海付近に気圧の谷が進む。
- 5日から6日は、前線を伴った低気圧が本州南岸を東北東に進む。

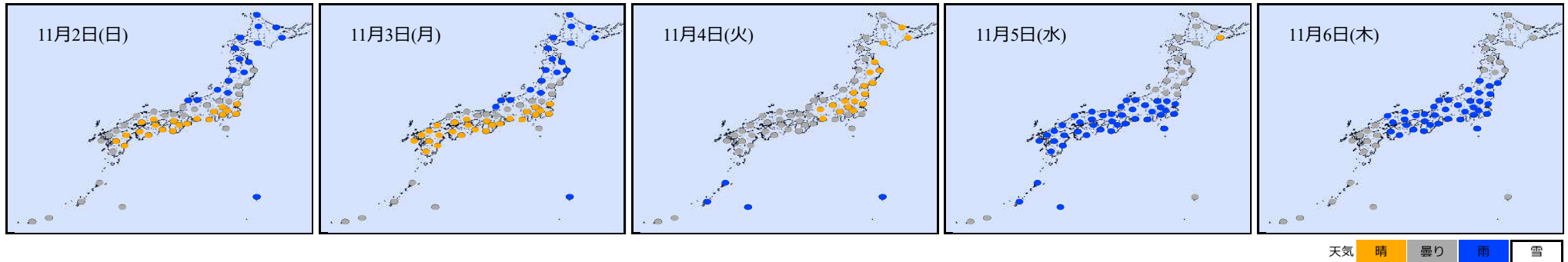
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 11月2日から3日にかけて、上空に寒気を伴った低気圧が発達しながら北日本付近を通過する。北日本から東日本にかけての日本海側を中心に荒れた天気となる見込み。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

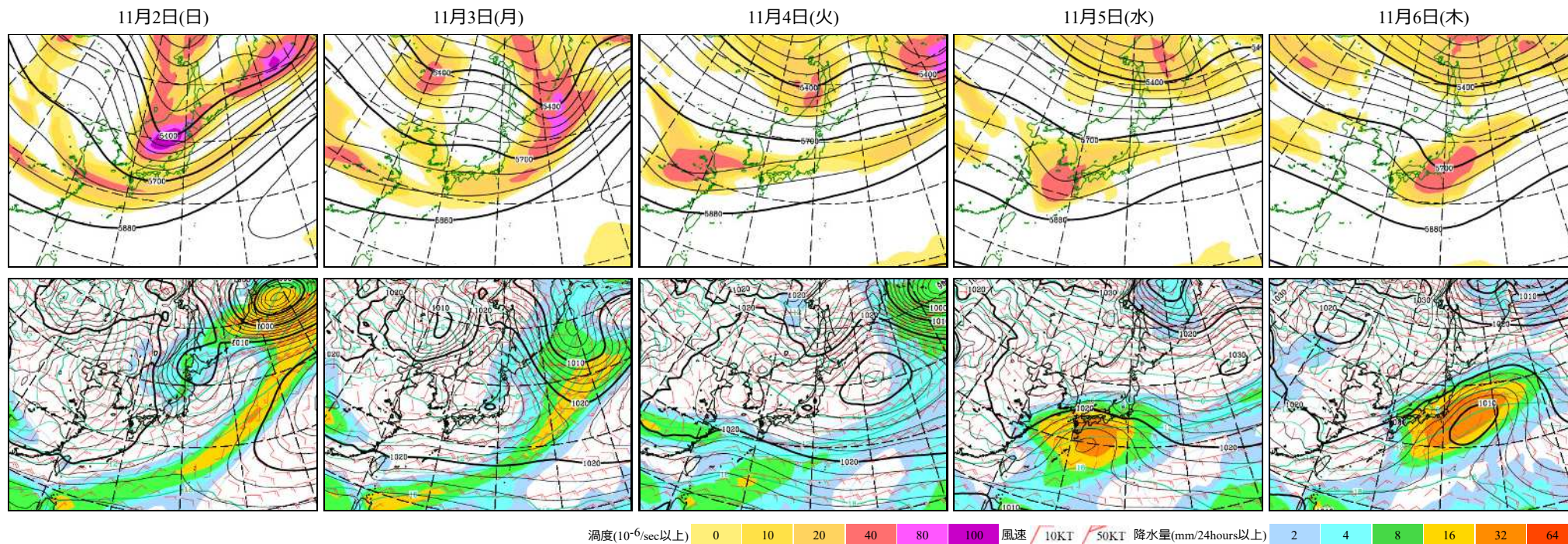
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

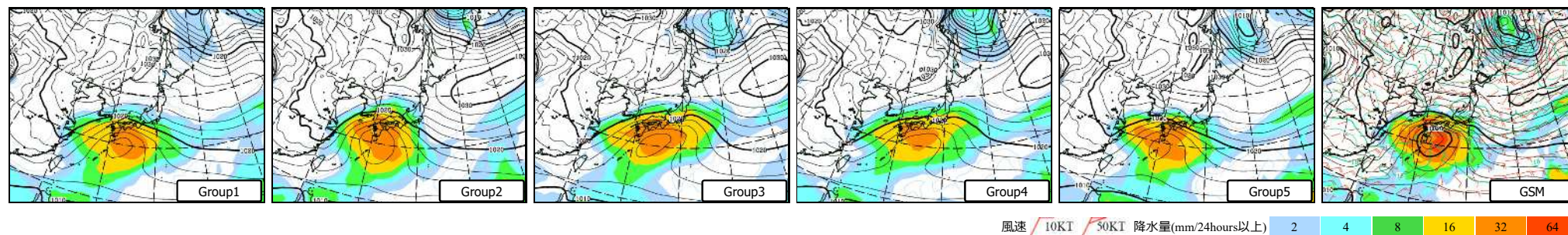


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、11月4日は晴れる所がある。
- 東日本太平洋側と西日本は、2日から4日かけては晴れまたは曇りとなるが、5日と6日は雨の降る所が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、4日と5日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆11月5日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、11月2日に日本海に進むトラフは深くなり、東進が遅くなった。6日に東日本付近に進むトラフが深くなった。地上の気圧配置の予想は、2日は北海道付近に低気圧が予想されるようになり、3日の高気圧の東進が遅くなった。5日から6日に本州南岸を進む低気圧が明瞭になった。
- 各モデルともに2日に日本海に進むトラフが深くなり、東進が遅くなった。5日から6日にかけては、上空のトラフの予想はモデル間の差が小さいが、地上の低気圧の予想にはモデル間の差が大きくなっている。
- 5日は、GSMは西日本南岸付近に低気圧を予想するが、海外モデルは異なる予想をしている。ENSは、GSMに近いメンバーが多いが、海外モデルに近いメンバーも含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。
- 5日から6日に本州南岸を進む低気圧については、不確実性がある。今後の予想によって東・西日本の天気が大きく変わる可能性がある点に留意。